

国立能楽堂

令和三年

二月

月間特集
絵画と能・狂言

【定例公演】2月3日(水)午後1時開演

狂言 粟田口 野村 万蔵 (和泉流)

能 杜若 香川 靖嗣 (喜多流)

【定例公演】2月19日(金)午後6時30分開演

狂言 塗附 高澤 祐介 (和泉流)

能 砧 大槻 文藏 (観世流)

梓之出

【普及公演】2月27日(土)午後1時開演

能・狂言の
絵が物語ること
小林 健二
(国文学研究資料館名誉教授)

狂言 仁王 山本 則重 (大蔵流)

能 通小町 坂井 音重 (観世流)

雨夜の伝

ユネスコ無形文化遺産
UNESCO
INTANGIBLE CULTURAL HERITAGE

February 2021
National Noh Theatre

予約開始 1月16日(土) 午前10時~
窓口販売開始 = 1月17日(日) チケット売場 午前10時~午後6時

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません

【電話】国立劇場チケットセンター 午前10時~午後6時

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

【インターネット】国立劇場チケットセンター

チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

入場料金

〈定例・普及公演〉正面¥5,000・脇正面¥3,300・中正面¥2,800

学生：脇正面¥2,300・中正面¥2,000

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。新型コロナウイルス感染症予防への対策に、ご理解とご協力をお願いいたします。詳細はホームページをご覧ください。

National Noh Theatre February 2021 Noh/Kyogen Performances:
February 3 (Wed.) 1 pm, February 19 (Fri.) 6:30 pm, February 27 (Sat.) 1 pm
Tickets: ¥2,800-¥5,000 On Sale: January 16 (Sat.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00[JST])
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese.



JR(中央・総武線)千駄ヶ谷駅(エレベーター・エスカレーターあり)下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車A4出口(エスカレーターあり)・徒歩5分 東京メトロ(副都心線)北参道駅下車出口1(エレベーター・エスカレーターあり)または2(エスカレーターあり)・徒歩7分 都バス早81(渋谷-早大正門)/黒77(目黒-千駄ヶ谷駅前)千駄ヶ谷駅下車・徒歩5分 ハチ公バス神宮の社ルート国立能楽堂下車すぐ 〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3425-1331(代) <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>



定例公演

2月3日(水)午後1時開演

粟田口

シテ/大名 野村 万蔵
 アド/太郎冠者 野村 萬
 小アド/すっぱ 小笠原 由 祠

杜若

シテ/杜若の精 香川 靖嗣
 フキ/旅僧 野口 能弘
 笛 森田 保美
 小鼓 成田 達志
 大鼓 柿原 弘和
 太鼓 桜井 均
 後見 中村 邦生
 友枝 真也
 大島 輝久 狩野 了一
 金子敬一郎 粟谷 明生
 友枝 雄人 友枝 昭世
 内田 成信 長島 茂

終演予定午後3時30分頃

定例公演

2月19日(金)午後6時30分開演

塗附

シテ/塗師 高澤 祐介
 アド/何某 三宅 右矩
 小アド/何某 三宅 近成
 笛 赤井 啓三
 小鼓 幸井 正昭
 大鼓 亀井 洋七
 太鼓 小寺 佐七

碓

梓之出

能【観世流】
 前シテ/芦屋の妻 大槻 文藏
 後シテ/芦屋の妻の霊 大槻 裕一
 ツレ/夕霧 大槻 昌平
 フキ/芦屋某 福王 茂十郎
 ワキ/下人 矢野 昌平
 アイ/下人 三宅 右近
 笛 赤井 啓三
 小鼓 幸井 正昭
 大鼓 亀井 忠雄
 太鼓 小寺 佐七
 後見 赤松 禎友
 武 富康之
 山崎 友正 内藤 幸雄
 小田切亮磨 山崎 正道
 川口 晃平 梅若 実
 角当 直隆 小田切康陽

終演予定午後9時15分頃

普及公演

2月27日(土)午後1時開演

能・狂言の絵が物語ること

小林 健二

仁王

シテ/博奕打 山本 則重
 アド/博奕打 山本 則秀
 立兼/参詣人 山本 泰太郎
 立兼/参詣人 山本 孝
 立兼/参詣人 山本 凜太郎
 立兼/参詣人 山本 修三郎
 アド/参詣人 山本 隆俊

通小町

雨夜之伝

シテ/深草少将 坂井 音重
 ツレ/小野小町 坂井 音晴
 フキ/僧 宝生 欣哉
 笛 一 庵庸二
 小鼓 鶴 澤洋太郎
 大鼓 亀 井忠雄
 後見 観 世恭秀
 坂井 音雅
 坂井 音隆
 観世 淳夫 柴田 稔
 安藤 貴康 清水 寛二
 谷本 健吾 観世鏡之丞
 長山 桂三 西村 高夫

終演予定午後3時30分頃

※解説の字幕表示はございません。

《月間特集 絵画と能・狂言》

演目と同じ題材が描かれた絵画ととも
 に能の魅力味わおう「絵画と能」シリーズ。
 これまでは近代絵画を取り上げてきまし
 たが、今回は近世の絵画にスポットを当
 てます。また、狂言は江戸時代の「狂言絵」
 に描かれた曲目から、当時と現在で演出
 が異なると思われる作品を特集します。

粟田口 主人に「粟田口」を求めてこい
 と命じられた太郎冠者。粟田口が何か分
 からないまま都へ行き、だまされて買っ
 てきた物とは…。

在原業平の和歌の功徳

杜若 在原業平が詠んだ和歌でも知られ
 る杜若の名所・三河国八橋。旅僧の前に
 杜若の精が現れ、業平や二条後の形見を
 身に付け舞を舞います。

絵画作品Ⅱ尾形光琳「八橋図屏風」

塗附 二人の大名の剥げた烏帽子を手際
 よく塗る塗師(漆職人)でしたが、仕上
 げで問題が…。細やかに描写される塗師
 の技は、中世の職人芸を目の当たりにす
 るようです。

夫を思う妻、妻を思う夫

碓 訴訟で都にいる夫を待ち続ける妻。
 碓を打って寂しさを慰めますが、夫が今
 年の暮れも帰らぬとの知らせを受け、絶
 望し亡くなります。夫婦の情念を描く、
 世阿弥晩年の名作です。

絵画作品Ⅱ葛飾応為「月下碓打ち美人図」

仁王 博奕で大負けして財を失った男は、
 仁王像に化けて供え物をだまし取ろうと
 企みますが…。

百夜通いの果てに

通小町 僧の前に現れた小野小町の霊は
 成仏を願いますが、小町への恋が叶わず
 に亡くなった深草少将の霊が取り憑き妨
 げます。死してなお恋の妄執にとらわれ
 る男女の苦悩を描く能です。

絵画作品Ⅱ葛飾北斎

「七小町枕屏風(通い小町)」